

## 重点戦略に関する整理一覧表 －検討の進め方－

### 1. 趣旨

答申に向けた論点別審議の中で、前回第11回（9/29）から第12回（10/20）、第13回（11/8）にかけて①重点戦略の在り方、②政策目的・戦略目標の在り方について重点的に審議する。

そこで、今後の部会審議を効率的・効果的に進めるため、前回の部会審議（吉本委員の意見発表及び意見交換）を踏まえ、かつ答申の最終形（本文となる「重点戦略」及び別添資料となる「重点戦略の戦略目標、評価指標・基準（例）」）をも念頭に置きつつ、六つの重点戦略ごとに政策目的・戦略目標－重点施策－具体的施策（例）－評価指標・基準（例）を体系化した一覧表に整理する。

### 2. 検討の進め方

#### （1）政策目的・戦略目標

- 「戦略目標」とは、使命（※ここでは文化芸術振興基本法の第1条（目的）及び第2条（基本理念）を念頭に置く。）を達成するために必要とされる優先度の高い目標。
- 「重点施策」の上位目標（＝「重点戦略」ごとの目標）を記載する。

#### （2）重点施策

- 「審議経過報告」における24本の重点施策をベースとする。
- そのうち、今夏の概算要求に繋げる等の観点からいささか近視眼的な表現振りとなっているものについては、「✓」印を付した上で記述を見直し、概ね5年間を見通した「答申・第3次基本方針」に記載すべき案文を左欄に記載する。
- 他の観点から記述を見直すべきものについては、「\*」印を付した上で同様に見直し後の案文を左欄に記載する。
- 特段「審議経過報告」時点の記述振りを見直す必要のないものについては、左欄を空欄のままとする。

#### （3）具体的施策（例）

- 各重点施策に対応する具体的施策を（例）として記載する。
- ※ 事務局原案は第9回（9/8）部会資料とした「概算要求等への反映状況」をベースとして記載。
- ※ 前回の部会審議において、評価体系を精緻化し過ぎることのマイナス面が指摘されたことを踏まえ、この「具体的施策」及び下記「評価指標・基準」については例示にとどめ、必要に応じて（例えば年度ごとに）更新していくこととすることにより、柔軟性を確保してはどうか。

#### （4）評価指標・基準（例）

- 「政策目的・戦略目標」ないし「重点施策」の進捗状況を点検する際の評価指標・基準を（例）として記載する。
- ※ 上記「具体的施策」同様に柔軟性を確保しつつ、定量的指標と定性的指標があることも念頭になるべく有効な指標を設定できるよう検討する。